

平成 27 年 10 月 30 日

養父市議会議長 勝 地 恒 久 様

総務文教常任委員会
委員長 田 中 久 一

委員会審査報告書

平成 27 年 10 月 27 日、本委員会に付託された事件は、審査の結果、下記のとおり決定したので、養父市議会会議規則第 101 条の規定により報告します。

記

- 1 審査年月日
平成 27 年 10 月 27 日 (火)

- 2 審査結果

議案番号	事 件 名	審査結果
議案第 77 号	まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略の基本目標を定めることについて	原案可決すべきもの

(別紙) 審査内容等報告書

(別紙)

総務文教常任委員会 審査内容等報告書

議案第 77 号 「まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略の基本目標
を定めることについて」

総務文教常任委員会・生活環境常任委員会の連合審査会を開催し、質疑を行った。

【質疑】「農」が中心の戦略となっているが、観光の視点も必要であり、もっと P R をすべきではないか。

【答弁】地域資源を生かしていくことを基本に考えている。何に重点を置くかが非常に大事で、「農」と連携して展開していく。6 次産業化を進める上で観光業との連携は欠かせない。

【質疑】子育てがしやすいまちには、図書館が必要ではないか。

【答弁】図書館建設構想に向けて調査・研究をしてきた。財政状況も厳しく、今の時点では考えにくい。

【質疑】地域医療・介護ネットワークの構築とは何か。

【答弁】I C T を利用して、病院・診療所・薬局・介護事業所等をネットワークで結び、スムーズに在宅生活ができるようにするものである。

【質疑】自治組織が 18 校区に設立されたが、その活用をどう考えているのか。

【答弁】自治組織との協働は欠かせないので、小さな拠点機能の充実など地域課題の解決につなげる取り組みを推進する。

【質疑】教育の基本的な考えはどのようなものか。

【答弁】子育て、教育、文化、スポーツなどを通じて、郷土愛、ふるさとへの愛着を育む施策を推進する。経済的負担の軽減やふるさと教育、多様な体験活動など、子育て支援の環境づくりを進める。

【質疑】総合戦略 5 年間の予算は、幾ら見込んでいるのか。

【答弁】5 年間の予算の積み上げはしていないが、平成 27 年度実施中の事業ではハード事業を含めて 12 億円程度の予算規模である。

【質疑】総合計画との整合性はあるのか。また、総合戦略は 5 年後に見直すのか。

【答弁】総合戦略は総合計画の人口対策について部門を特化し、取り組みを強化したものと位置付けている。5 年後の見直しについては検証するが、国の動向による部分が多く見直すかどうかは決まっていない。